

番 号 1

平成24年 6月 6日

仙北市議会議長 佐藤 峯 夫 様

仙北市議会議員 3番 門 脇 民 夫

		平成24年 6月 6日 午前 10時02分 受領
発 言 通 告 書	発言の種別	一 般 質 問
発 言 の 要 旨		備 考
<p>1. 空き家条例の制定促進に向けて ア、市内空き家の実態調査結果について イ、空き家バンクの利用状況について ウ、空き家の冬期間の雪害及び風害の被害状況について エ、所有者不明の空き家の固定資産税徴収状況について オ、公共の安全に危害を及ぼす空き家の取り扱いについて</p> <p>2. 上桧木内高野遺跡について ア、調査結果と保存について イ、教育・観光資源としての活用について</p> <p>3. 仙北市の林内路網整備について ア、県の「林内路網整備促進条例」制定に伴う仙北市の 取り組みについて イ、仙北市の林内路網整備率について</p> <p>4. 救急医療情報プレスレットの普及について</p>		
上記の通り通告します。		

番 号 2

平成24年 6月 6日

仙北市議会議長 佐藤 峯 夫 様

仙北市議会議員 18番 藤原 助 一

		平成24年 6月 6日 午前 9時58分 受領
発 言 通 告 書	発言の種別	一 般 質 問
発 言 の 要 旨		備 考
1 農業経営対策について 2 がれき受け入れ体制について 3 名産品の生産振興について 4 若者の市内就職率について 5 玉川温泉岩盤浴場の冬場の再開について 6 スポーツ振興に必要な施設の整備について 7 教育委員会の会議録について		
上記の通り通告します。		

番 号 3

平成24年 6月 6日

仙北市議会議長 佐藤 峯 夫 様

仙北市議会議員 8番 佐藤 直 樹

		平成24年 6月 6日 午前 10時16分 受領
発 言 通 告 書	発言の種別	一 般 質 問
発 言 の 要 旨		備 考
1 玉川の河川改修の早期実現を (1) 防災…河床整備・堤防の建設 (2) 減災…避難道路整備を早急に (3) 環境センターは水害に大丈夫か？ (4) 玉川河川公園の今後の計画は？ 2 庁舎整備に関する基本方針について 角館庁舎の移転先の考え方は？ 3 県指定の史跡、白岩焼窯跡の毀損事件について 今回の事件の一番の原因は何か？		
上記の通り通告します。		

番 号 4

平成24年 6月 6日

仙北市議会議員 佐藤 峯夫 様

仙北市議会議員 6番 田口 寿宜

		平成24年 6月 6日 午前 11時04分 受領
発言通告書	発言の種別	一般質問
発言の要旨		備考
<p>○所得向上策について</p> <p>所得向上策については、様々な分野・角度から議論がされている。</p> <p>現在取り組んでいる施策も、所得向上につながるものが多い。また、各市民会議から出されている提言等も、これにつながる大事な提言であると考えます。この事を踏まえ、次の事を伺う。</p> <p>1) 観光産業拠点特別区観光戦略会議や仙北市将来ビジョン策定委員会から受けている提言を、どのように形にして行くのか。</p> <p>2) 産業振興基本条例が施行されてからの動きが、少し鈍いという声を耳にする。制定するまでに傾けた情熱を思い起こし、この条例の重要性を多くの市民と共有し、本気で産業振興に取り組んで行くべきと考えるがどうか。</p> <p>3) 観光産業は、全ての産業につながる戦略的な総合産業である。過去の観光客数の増減の要因を再度洗い出し、しっかりと検証し、その結果を活かし、DCや今後の観光振興に向けて関係機関と強気に連携し、待ちの姿勢ではなく、攻めの姿勢で進んで行くべきではないか。</p> <p>4) 各部課で所得向上につながる施策を展開しているが、組織</p>		

の中での横のつながりを今まで以上にしっかりととり、全庁的に本気度100%で取り組むべきであり、その本気度が市民に伝わる事によって初めて、様々な事に市民と協働で取り組めるものと考えているがどうか。

上記の通り通告します。

番 号 5

平成24年 6月 5日

仙北市議会議長 佐藤 峯 夫 様

仙北市議会議員 2番 熊谷 一 夫

		平成24年 6月 5日 午後 4時 57分 受領
発言通告書	発言の種別	一般質問
発言の要旨		備考
<p>◎再生可能エネルギー（小水力発電）について</p> <ol style="list-style-type: none">1. 小水力発電の導入に関する計画と市長の考えを伺う2. 官民一体で連携しての取組みは？3. 建設費用の民間資金導入について <p>◎クニマス里帰りプロジェクトについて</p> <ol style="list-style-type: none">1. クニマス里帰りプロジェクトと観光振興の具体策は？2. クニマス資料館（仮称）建設計画と「生きたクニマス」の展示構想は？3. 田沢湖畔の環境整備の原状と課題について（清掃活動、宿泊施設・周辺住民の下水処理・整備状況、ジェットスキー禁止条例の制定等） <p>◎学校の防災機能強化について</p> <ol style="list-style-type: none">1. 災害時の通信機能・電力確保（自家発電設備）は大丈夫か2. 備蓄倉庫又は防災倉庫は設置されているか？地域住民が避難してきた際の備蓄食糧（3日分）はあるか3. 避難生活に不可欠な水の確保、方法は？4. 地域住民との防災教育・訓練は実施したことがあるか5. 防災教育の中で、非常食糧の試食等の訓練をした事があるか		

◎被災者支援システムの導入・運用について

1. 導入・運用する考えはあるか？
2. 総務省で無料提供しているソフト（CD-ROM）を取り寄せたか
3. システムをインストールし、テスト等行ったか
4. どの関係機関と協議・調査を行ったか

上記の通り通告します。

番 号 6

平成24年 6月 6日

仙北市議会議長 佐藤 峯 夫 様

仙北市議会議員 1番 高 橋 豪

		平成24年 6月 6日 午前 8時 30分 受領
発言通告書	発言の種別	一般質問
発言の要旨		備考
<p>1. 市長マニフェストの検証について</p> <p>門脇市長のマニフェストについては、その実効性を担保するために、アクションプランと達成目標とする指標を検証することとなっていたが、本年5月に検証委員会が立ち上がった模様である。政策のビジョンと具体策を打ち出し、何をいつまでにどれだけやるかということを示した上で有権者の判断を仰ぐといったマニフェスト選挙において、より重要であるのがその検証である。客観的で、また専門的な見地から行われた検証結果が、随時有権者に公表され、次の選挙時における投票行動の判断基準となるべきであるため、この検証委員会の果たす役割は大きいとの考えのもと、次の点について伺う。</p> <p>①検証委員会設置までの流れについて（設置が今に至った理由、公募の状況、委員の構成など）</p> <p>②検証委員会における具体的検証手法やその内容について</p> <p>③検証における客観性や専門性について</p> <p>④検証のスケジュール等について</p> <p>※1問1答形式で質問致しますので申し添えます。</p>		
<p>2. 地域運営体に求められる役割と課題 また今後について</p> <p>地域運営体は昨年で9地区全て立ち上がった。これまでの地域運営体の活動については、各地域において、良い成果が見られる事業の他、一方で行政が担うべきものとの二重構造など課題となっている事項も多々あるものと思われる。地域運営体がそれぞれの地域を守り、次世</p>		

代まで継承していく上で、将来にわたりその事業財源を手当てしていく必要がある中、何を行政が担い、何を運営体が担うのかといった役割分担を今一度精査すると同時に、本市行政の将来像を踏まえてどのように行政の構造改革を進めていくかが今後のポイントとなり得ると考え次の点を伺う。

- ①地域運営体を設置した意義について今一度確認する
 - ②地域運営体におけるこれまでの課題をどのように分析しているかについて
 - ③各運営体の 24 年度事業計画が提出されているようだが、各課題について行政側はどのような対応を行っているのか等について
 - ④行政の役割と地域運営体の役割について
 - ⑤地域運営体の将来も含めた財源並びに配分等について
 - ⑥財源と行革についてなど
- ※ 1 問 1 答形式で質問致しますので申し添えます。

上記の通り通告します。